

# CASBEE® 京都-新築

## 標準システム

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 特別養護老人ホーム大枝美郷 新築工事	階数	地上4F
建設地	京都府京都市東山区大枝美郷 1-1-1	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	197 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年3月 予定	評価の実施日	2020年1月8日
敷地面積	4,685.30 m <sup>2</sup>	作成者	㈱オズー級建築士事務所 澤田 彰
建築面積	1,611.16 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	5,346.52 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (184 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み: 89% (164 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の: 89% (164 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④上記+: 89% (164 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.5

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	LED照明などの高効率機器を積極的に採用することで、省エネルギー性に優れ、環境負荷を低く抑えられる建築物となるようにした。	その他 特になし
Q1 室内環境	F☆☆☆☆の建材を採用し、室内環境が快適に保たれるように配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 屋上テラスや吹き抜けにより、豊かな中間領域を形成した。
LR1 エネルギー	BPI <sub>m</sub> =0.79, BEI <sub>m</sub> =0.86	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO <sub>2</sub> を低く抑えることにより、長期にわたり環境負荷を軽減し、地球温暖化の防止に付与できる建物となるよう配慮している。
Q2 サービス性能	長期に建物を使用するにあたり、維持管理が容易な部材を選定した。	
LR2 資源・マテリアル	節水型機器やリサイクル材を積極的に採用し環境保護に努めている。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される